

2050年の大阪の将来像に関するご意見

高橋 朋幸 様

- 大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会」の考え方から、2050年の大阪の将来像の検討に向け、3つのキーワード【健康、持続可能、国際都市】を設定しました（別添有識者WG資料3，4ページ目を参照してください。）。それぞれの観点を中心に、委員の皆様が現時点で考える2050年の大阪のあるべき将来像があれば、自由に記載してください。
なお、キーワード以外の事項についても、幅広く記載いただいても結構です。

「Well-Beingな未来社会」を先導する都市 ～ 人も都市も健康かつ幸せで、様々な人が憧れ、訪れる都市 ～

（頂いたキーワードを念頭に将来像を考えてみると）

- ① 「幸福寿命が体感できるライフスタイルの実現」（健康）
 - ◇ 人生100年時代に、人がいかに輝いて生きていくかという意味の「健康づくり」
 - ◇ 新たな学術的発見とICT活用により、ライフサイエンス分野のイノベーションが活発に（「未来医療」等）
- ② 「食とエンターテインメントの世界都市」（健康、国際都市）
 - ◇ 食やエンタメの可能性を追求、先進的に取り組み、人を元気に
 - ◇ 子どもの貧困問題がなくなり、食文化、伝統文化を理解する機会を創出
- ③ 「人と機械が共創する社会を先導」（健康、持続可能）
 - ◇ 人間と機械の協調、能力拡張、活動空間拡大等、人ができないことを可能にしつつ、幸せになれる技術活用が活発化（「次世代ヘルスケア」等）
- ④ 「ポストSDGs推進をリード」（健康、持続可能、国際都市）
 - ◇ 万博を契機にポストSDGsで大阪ができることを考え、発信、行動できている状態（「多文化共生」、「心のバリアフリー」はテーマ候補）
- ⑤ 「先進的なインフラモデルを構築」（持続可能）
 - ◇ 生活・社会、産業・経済の基盤であるインフラ（「エネルギー・環境」、「次世代モビリティ」等）の新しいあり方を提示
- ⑥ 「瀬戸内・日本海との連携で魅力拡大」（国際都市）
 - ◇ リニア、北陸新幹線延伸、3空港活用、舟運等を活用した西日本の玄関
 - ◇ 玄関にふさわしい、街の美化とわくわくする魅力あるまちづくり
- ⑦ 「様々な関係人口がイノベーションと人材を創出」（国際都市）
 - ◇ 観光インバウンドからビジネスインバウンドへと国際的な関係人口の広がり
 - ◇ 関係性の広がりがイノベーションや次世代「人材育成」を推進

将来像の実現に向けて、克服すべき課題や取組みの方向性がありましたら、記載してください。

- ◇ 2050年を見据えて人間の価値とは何かから未来をデザインする必要
 - ✓ 2050年の人と社会のありようをどうとらえるか。
 - ✓ 大きな文明の変遷（たとえば、農業社会⇒工業社会⇒情報社会⇒？）で整理して

考えることも重要ではないか

- ✓ デジタルツイン、リアルとバーチャルの融合、あるいは、生物由来であるものと生物由来でないものとの融合といった、異なった性質ものどうしの融合が、人と社会が成長を促すのかもしれない
- ✓ AI・IoT・ロボット、XR等の技術による革新だけでは幸せな社会は実現しにくくなり、共存をいかに図るかは課題
- ◇ 経済合理性でない、新しい人と社会のあり方を示すKPIがあって良い
たとえば、子どもが元気であることをKPIとすると良いのではないか
- ◇ キーワードは出ており、既に計画されているものと、社会がどうなるかを想像し、それらをマップ化（上記も含め）すると良いのではないか

以上、私見となります。